

# ICTを活用した地域医療連携「きさいやネット」の取り組み（愛媛県宇和島市）

## 取組概要

「きさいやネット」とは、市立宇和島病院の電子カルテ上の診療情報（医師の記録、処方、検査、画像データ等）を、登録した利用医（病院や診療所の医師）が、自身の診察室等のパソコンを使って閲覧できるネットワークシステムであり、情報共有の迅速化と地域医療の質の向上を目的としている。現在、南予地域を中心とする医療機関が参加しアクセス件数も順調に伸びている。また、今後は調剤薬局や訪問看護ステーションにもネットワークを拡充していく予定となっている。

## 取組の効果

- 平成28年6月30日現在（運用開始から1年1ヶ月）、南予地域の36施設がネットワークに参加し、登録患者数は2,051人、参加施設からのアクセス件数は10,692件に達している。
- 利用医からは、「紹介・逆紹介した患者の診療データを迅速、詳細に把握することができ、適切な診断や詳細な病状説明が可能になった。」と高い評価を得ている。
- 患者にとっても投薬や検査の重複を防ぐことができ医療費負担の軽減になるほか、地域のかかりつけ医がシステムにアクセスして自身の体の状態を見てくれることで、大きな安心感につながっている。

## 創意・工夫した点

ネットワークの構築にあたって、連携施設はインターネット環境を整備すれば無料で参加できる仕組みとした。この参加費無料化により連携施設が参加しやすくなるとともに、当院スタッフがPCのセットアップサポート及びアフターフォローを手厚く行うことで、ネットワーク利用率だけでなく当院の紹介・逆紹介率も向上させたいという狙いがあった。

一方で、初期の連携先を限定したスモールスタートにもこだわった。既に紹介・逆紹介の実績のある医療機関から連携を開始し、相互に情報共有のメリットを実感する中で口コミによるネットワークの拡充に期待した。

## 他団体へのアドバイス

当市が抱える地域医療の課題は、県内の多くの地域医療圏が抱える課題と共通する。こうした中、自治体病院が中心となり取り組んできた「きさいやネット」は、「地域連携」や「情報共有」を推進していくための一つのツールにすぎないが、さまざまな局面において地域医療の課題解決や質の向上に寄与している。

人口 79,639人

担当 病院局医事課

